

夏の御文

ゲノオフミ

法要

日時

6月24日(木)

午後1時30分

～3時30分

講題

「一念発起

へいぜいごうじょう

平生業成の宗旨」

ご講師

墨林浩師 (光照寺)

ご講師からのメッセージ

蓮如上人は、よく知られている『五帖御文』八〇通はじめ、約三三〇余通の『御文』をその生涯で記されたと言われていいます。そして特に『夏御文』四通は、明応七年という亡くなられる前年、八四歳の五月、六月、七月に記された御文です。その中で上人は、私たちに、「御ころをしずめ、眠りをさましてねんごろに聴聞候え」「御ころをすましてよくよくきこしめ候うべし」「御耳をすまして御きき候え」と、ひたすら聴聞を重ね、信心決定せよと御教化されています。しかし現実には「人目ばかり名聞の体たらく、言語道断あさましくおぼえ候う」と嘆かれ、聴聞といいいながら「鹿の角をはちのさしたるよう」と戒めておられます。

まさに上人は、諸行無常、生死無常の中にある私達に、「あなたは、何を根拠として生きているのですか」と問い^{ただ}糾してくださるのではないのでしょうか。共に尋ねてみたいと思います。